

お知らせ

平成28年12月26日

資料提供先：鳥根県政記者会

冬用タイヤ装着状況調査結果 冬用タイヤの装着をお願いします！

安全で円滑に冬の道路を利用いただくため、11月下旬～12月上旬に3回、一般国道54号において、ドライバーに対して冬用タイヤ装着の啓発チラシを配布し、**冬用タイヤへの早期装着を呼びかけました。**

あわせて行った冬用タイヤの装着状況を調査した結果についてお知らせいたします。

冬用タイヤ装着率は、11月29日(火)調査では、36.0% → 12月13日(火)調査では85.5% と**49.5%**装着率が上昇していました。

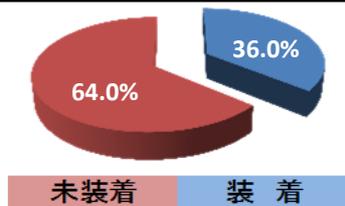
12月となり、冬用タイヤへの交換が進んでいますが、大型車などの業務用車両に比べ、**普通車は交換が進んでいない傾向**が判りました。

冬用タイヤの装着(またはタイヤチェーンを携行・装着)をしていないと、スリップ事故やスタックによる走行不能につながることであり、他の道路利用者に迷惑をかけることとなります。

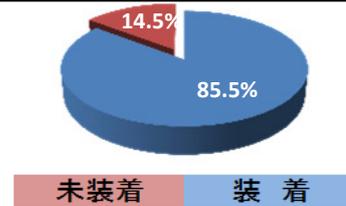
安全に道路を利用していただくためにも、**『冬用タイヤへの装着』をお願いします。**

《 冬用タイヤ装着率調査結果 》 ※ 詳細は別紙のとおり

11月29日装着率調査結果



12月13日装着率調査結果



【 問い合わせ先 】

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

鳥根県松江市西津田2丁目6番28号

副所長(管理) 山崎 彰 (やまさき あきら) 内線205
(担当) 管理第一課長 中田 好彦 (なかた よしひこ) 内線431
(広報担当) 計画課長 高崎 修 (たかさき おさむ) 内線261

TEL : 0852-26-2131(代表) 0852-26-0611(夜間・休日)

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

※ 松江国道事務所では、twitter(ツイッター)により道路情報を発信しています。

ツイッター : http://twitter.com/road_matsue

QRコード



冬用タイヤ装着状況 調査結果 《概要》

松江国道事務所

《 日時・調査場所・参加者 》

- 平成28年11月29日(火) 14時00分～15時00分
 うんなん みとやちよう おつかみや おつかみや
 雲南市三刀屋町乙加宮 [乙加宮車両監視所]
 雲南警察署・松江国道事務所
- 平成28年12月 3日(土) 13時30分～14時30分
 いいし いいなんちよう しもあかな
 飯石郡飯南町下赤名 道の駅赤来高原
 飯南高等学校ハンドボール部生徒18名・飯南町・松江国道事務所
- 平成28年12月13日(火) 14時00分～15時00分
 うんなん みとやちよう おつかみや おつかみや
 雲南市三刀屋町乙加宮 [乙加宮車両監視所]
 雲南警察署・松江国道事務所

《 調査方法 》

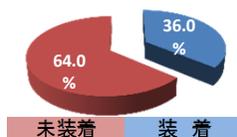
車両監視所に車両を誘導し、チラシを配布し冬用タイヤ早期装着の啓発を行うとともに、目視により冬用タイヤを確認

《 調査結果概要 》

- 乙加宮車両観測所で行った2日分の結果から冬用タイヤ装着率を比較すると
- 11月29日の調査では、**36.0%**の装着率
 ↓ 2週間で装着率が大幅に上昇
- 12月13日の調査では、**85.5%**の装着率
- 11月29日から12月13日の2週間で装着率が49.5%上昇

【 11月29日装着率 】

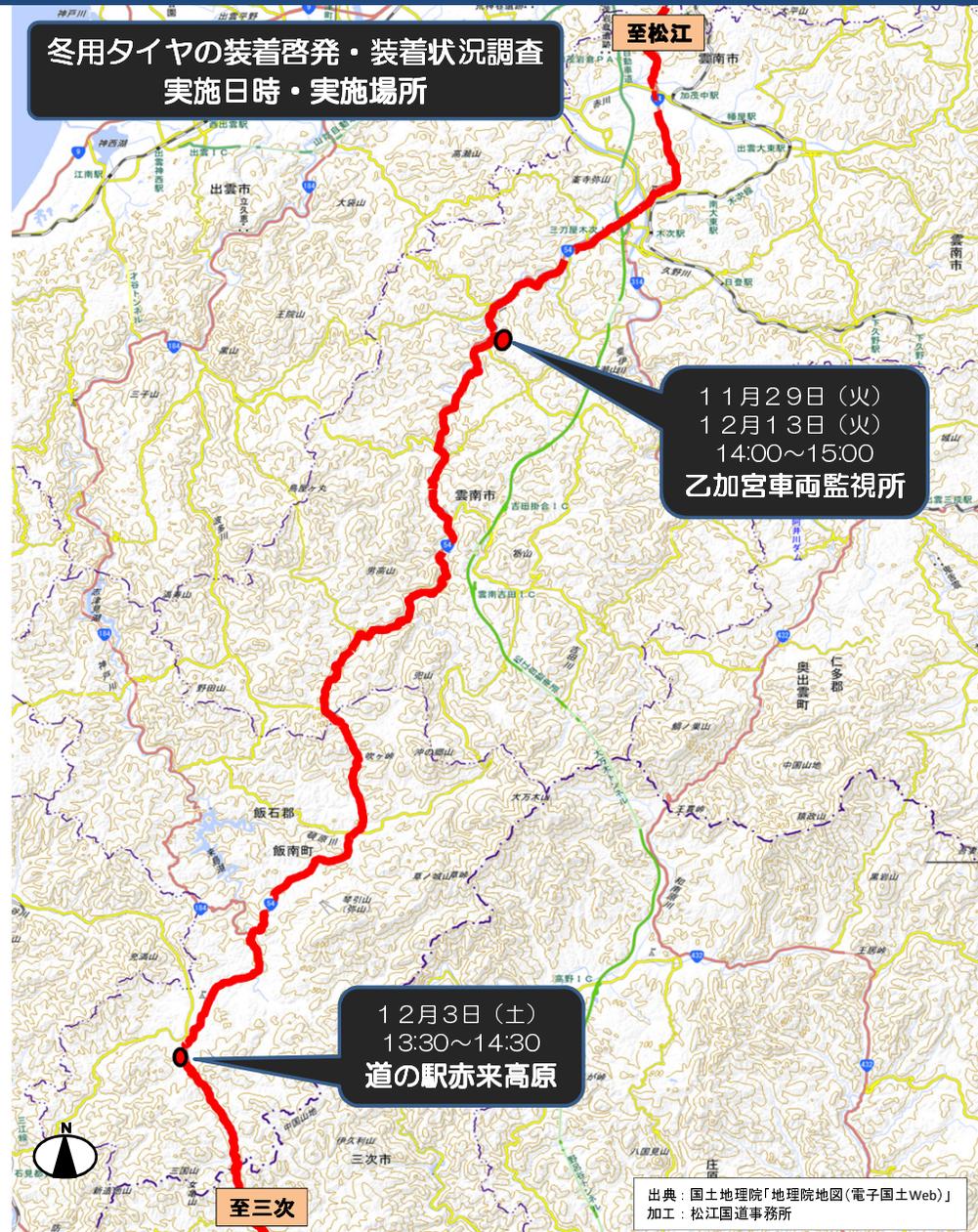
調査台数	100台	
冬用タイヤ装着車両	36台	(36.0%)
冬用タイヤ未装着車両	64台	(64.0%)



冬用タイヤ装着率は、2週間で49.5%増加したが、**12月中旬でも14.5%冬用タイヤ未装着であった。**

【 12月13日装着率 】

調査台数	117台	
冬用タイヤ装着車両	100台	(85.5%)
冬用タイヤ未装着車両	17台	(14.5%)



冬用タイヤ装着状況 調査結果 《詳細》

松江国道事務所

1. 車種別比較

《 大型車 》

平成28年11月29日(火) 乙加宮車両監視所

調査台数	1台	
冬用タイヤ装着車両	0台	(0.0%)
冬用タイヤ未装着車両	1台	(100.0%)



平成28年12月13日(火) 乙加宮車両監視所

調査台数	9台	
冬用タイヤ装着車両	9台	(100.0%)
冬用タイヤ未装着車両	0台	(0.0%)

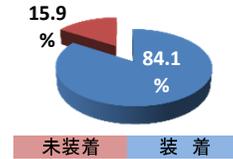


2. 県内、県外別(12月13日(火)乙加宮監視所

《 県内外別 》

【 島根県内 】

調査総数	107台	
冬用タイヤ装着車両	90台	(84.1%)
冬用タイヤ未装着車両	17台	(15.9%)



【 県 外 】

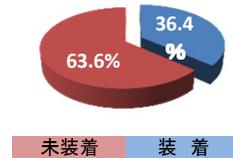
調査総数	10台	
冬用タイヤ装着車両	10台	(100.0%)
冬用タイヤ未装着車両	0台	(0.0%)



《 普通車 》

平成28年11月29日(火) 乙加宮車両監視所

調査台数	99台	
冬用タイヤ装着車両	36台	(36.4%)
冬用タイヤ未装着車両	63台	(63.6%)



平成28年12月13日(火) 乙加宮車両監視所

【 全 車 両 】

調査総数	108台	
冬用タイヤ装着車両	91台	(84.3%)
冬用タイヤ未装着車両	17台	(15.7%)



《 啓発活動・調査状況写真 》

11月29日 乙加宮車両監視所



12月13日 乙加宮車両監視所



12月3日 道の駅赤来高原



12月3日 道の駅赤来高原



《 車種別分析 》

- ・大型車は、タイヤチェック対象車両の大半が企業が所有する車両であったため、冬用タイヤ装着率が高かった
- ・普通車は、12月13日調査で15.7%が冬用タイヤ未装着であり、未装着車は県内ナンバー車であった

《 全体分析 》

- ・乙加宮車両監視所で上り車線(広島方面)走行の車両について冬用タイヤ装着確認を行ったものであり、その先には晴雲トンネル・赤名トンネルと、道路が急勾配で雪による立ち往生(スタック)する危険性が高い。
- ・12月中旬で15.7%が冬用タイヤ未装着であり、今後も必要に応じてタイヤチェックを行い、注意喚起する。

《 参 考 》

平成28年12月3日「道の駅」赤来高原の結果

調査総数	50台	
冬用タイヤ装着車両	15台	(30.0%)
冬用タイヤ未装着車両	35台	(70.0%)